

ほりのうら



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8

Tel : 03 - 3313 - 6241

Fax : 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>

五重塔は、古代インドで仏舍利(お釈迦さまのお骨)を納めたストゥーパを起源とします。ストゥーパは元々半球状でしたが、仏教が中国に伝わると高層の楼閣建築となり、さらに日本に伝わり、五重塔をはじめ、三重塔や十三重塔などが建立されました。

妙法寺の五重塔は、安永9年(1780)、16世日沼上人の代に造立されました。高さ5.67メートルと、妙法寺の石造品のうち最大のものです。

何度か倒壊の難に遭いますが、天保2年(1831)に修造、万延元年(1860)に再建され、現在もほぼ全容を残しています。

宗歌

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穏で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗歌　日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲もほれぬ

たえぬ御_{みのり}法の鷺の山風

山主隨想

山田日潮



仏さまの世界から地獄の世界まで仏・菩薩・縁覚・声聞・天上・人間・阿修羅・畜生・餓鬼・地獄の十の世界、その一々互いに九界を具有する、と言う、天台大師が創められた説です。仏さまにも地獄の世界を持つという事に驚きますが、あらゆる世界の者が仏になりうる、と言う事でしょうか。日蓮聖人は地獄と仏とは何れの所、と言われ、我等が五尺の身の内に、と答えられています。

地獄とはどの様なものなのか、想像の世界でしかありませんが、今年で発生十三年にもなりました、東日本大震災で津波が押し寄せ、濁流の渦が家屋を飲み込み、そして流し、何台もの車を塵屑のように流され、多くの人々が尊い命を失っています。正に地獄絵図のような映像を目にし、泥水が引いた後の光景は人の営みがあつたとは思えぬ町の姿で、荒涼とした大地

だけ残されていました。以前、インドネシアでおきた地震・津波でその脅威は知つておりましたが、まさか我が国でその様な恐ろしい事態になるとは想像だにもしておりますんでした。その生々しい恐ろしい有り様は、一瞬声も出せず息も出来ない程の衝撃だったと記憶しております。東京での震度は五弱で、立つていられない程の揺れではなく被害も最小限に済んだと思いますが、その時の町の混乱ぶり、そして地震の影響が暫く続いた事を覚えて、ます。その後も国内外でいろいろな自然災害が多発して来ました。そして今年、正月元旦から、この所毎年のように続いていた地震が能登半島・北陸の地で大変な被害を齎す大地震となり、この地を襲いました。この地には重要文化財を有する、妙法寺の関係寺院である本山妙成寺、その他法縁の寺がありますので度々訪れている所です。それぞれ損害を被ったようですが、宗務所長さんの寺は珠洲市にあります。珠洲は落ち着きのある穏やかで閑静な風情のある町並です。隣の塗り物の町、輪島市と共に今回、一瞬の地震、そして津波・火災により地域は壊滅的な状況に陥つたようです。ライフラインと言われる電気・水道が使えぬ状態で被災後の生活に支障を來し、道路が壊され、又、段差が生じるなど、

救援が遅れ、支援物資が届かぬなど、地震の多い国の課題が見え、いつまでも改善されぬ事柄があり、心配です。

此の度の被災で車・ビニールハウス・危険承知で半壊した家で過ごす人々がいました。体育館などの避難所での生活をしたくない人々だと思います。災害で家屋を失った方々が受けた精神的ダメージは大きく、更に過酷な生活を強いられます。気候の厳しい時など、特に老齢の方、疾患のある方は辛い日を送らねばなりません。避難所の光景を見て、とても先進国とは思えない、う人がおられたようですが、傍で言うのは簡単ですが、もう少し大きな精神的苦痛を受けた人々の気持ちが和らげる様な環境を確保出来ないかと思います。

東京でも何れ直下型、南海トラフ大地震があると予測され、シミュレーション番組で、その大きな被害が出るとの事ですが、想定外と言う事も起こり得ますので、更に甚大な状況になる事も予想出来ます。只、避難場所などは知つてはいますが、自分が居る環境・状況を考え、いざと言う時どの様に対処すべきか、その術がわかりません。少しでも安全を確保する方法を日頃より

考えておかねばと思います。

近年、大きな自然災害が屢々おこっています。その様な時、人と人のつながりが希薄になつて行くと言われますが、互いに辛い思いをしている同志が助けあい、災害にあつた時、助けられたので今度は自分達が手を差し伸べる番だと言う人々、ボランティアで復旧に手を貸す人、被災地の特産品を買い、少しでも力になれば、と言う方々がおられる事に心が暖まり、ホッとした気持ちになります。私達は現在、平穏な生活を送っていても、何時その状況が変わるかも知れません。人はこの五尺の体の中にいろいろな世界の心を持つてゐるそうですが、人間、互いに尊い命を授けられた者ですから、尊重仕合い、穏やかで幸福な生活を望む時、思いやりの心を大事にし、生きる事が大切のようです。

人の心も使い方・考え方次第です。歓迎出来ない事が数々起ころる世の中ですが、仏・菩薩の心が持てるよう、私達の心を磨き上げて行きたいのです。

日蓮聖人の手紙（三十八）

妙揚寺住職
立正大學名譽教授
東京立正短期大學名譽教授

北川前肇

「春のいわい（祝）はすでに事より候ひぬ。

さては故（こ）なんでうどの（南条殿）はひさしき事には候はざりしかども、よろづ事にふれてなつかしき心ありしかば、とろかならずをもひしに、よわひ盛（さか）んなりしに、はかなかりし事、わかれかなしかりしかば、わざとかまくら（鎌倉）よりうちくだかり、御（み）はかをば見候ひぬ。

それよりのちはするが（駿河）のじん（便）にはとをもひしに、このたびくだしには人にしのじて、これへきたりしかば、にしやま（西山）の入道殿にもしられ候はざりし上は力をよばず、とをりて候ひしが心にかかりて候。その心をとげんがために、此御房（このこぼう）は正月（こうや）の内につかわして、御（み）はかにて自我偈（じがげ）一巻よませんとをもひてまいらせ候。御との、御かたみもなし、なんぞなげきて候へば、とのとどめをかれける事よろこび入りて候】

詁

「新春のお祝を述べてから、すでに日数がたちました。

さて、亡きお父上（南条兵衛七郎殿）との交流は、私が鎌倉において弘教に当たつて伊豆流罪以前のことですから、それほど長い間にわたつてのことではありませんでした。けれども、すべてにおいてうちとけられる優しい人柄でありましたので、とても大切な方であると思っておりました。しかも、まだお歳も若く、壯年のころでありますのに、お亡くなられてしまいました。私（日蓮）は、そのお別れがあまりにも悲しくありましたので、どうしてもお墓へ参りたくて、あえて鎌倉から駿河国富士郡上野郷（静岡県富士宮市）のご墓所へお参りして追善の回向をいたしました。

その後は、駿河方面へ出掛ける予定があれば、また訪れようと思っていたのですが、このたび身延山に入る（文永十一年五月）に当たつては、鎌倉幕府の監視がきびしいためにひそかに行動しましたので、同じ富士郡の信徒である西山の入道（西山郷の地頭で大内氏）にさえ知られないほどの行動でしたから、仕方ありません。すぐ近くをとおつたのに、墓参できませんでした。その思いを果たすために、この手紙を持つ弟子の伯耆房（日興上人）を正月のうちにつかわして、ご墓前において自我偈一巻を読ませてご回向いたしたく存じた次第です。私は、お父上のお形見もなく残念だなどと歎いてもみましたが、ご貴殿のような立派な御令息を形見としてお残ですから、むしろよろこぶべきことと思つています」

（文永十二年正月下旬・『春之祝御書』（南条氏へ）・昭和定本八五九頁）

佐渡流罪赦免後、日蓮聖人は身延山へ入山されることになります。文永十一年五月のことです。間もなく、富士郡上野の南条時光が聖人のもとを訪れ、ご供養の品々を届けました。翌年の正月、聖人は弟子の日興上人をして、亡き父の墓前に追善回向をささげられました。この一文から、鎌倉幕府（北条氏）の監視の厳しさが知られます。そして、その厳しさは、弘安二年（一二七九）年の「熱原法難」として表面化するのです。

解説

法縁

寺

めぐり～その三十九

ほうようざん

じょううんじ

日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつながりを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

法要山 淨運寺



住職 室矢 教恵
むろや きょうえ

当山は、町田の豪族矢部淡路殿の屋敷跡に、天正五年（一五七七）七月、碑文谷法華寺より本正院日明上人を招聘し開山、矢部淡路殿（法善院日証）を開基とする。寛永十四年（一六三七）、武藤佐次右衛門（淨運院日徳）と武藤佐次右衛門・母（法用院日運）の草庵を寺とした。

今日の山号は『法要山』となっていますが、これは寛保元年に当山第二十八世日心上人の代に改めたもので、元は『法用山』としていた。古文書には「当寺開闢天正五年以降、天和二年（一六八二）当門建立、日心之を創りてより以来六十一年山号を改字、本山に

◀本堂

達し顯額す。延宝・宝永時代の本堂・庫裡・鐘樓堂・番神堂・千仏堂・三十番神堂・清正公堂・妙見堂等あり。明治九年（一八六七）五月十八日の夜、諸堂全て消失す。」

その後、歴代上

人をはじめ檀信徒

により再建中、二

度の火災にあうが

昭和三年（一九二八）

に建立したのが現在の本堂である。山号

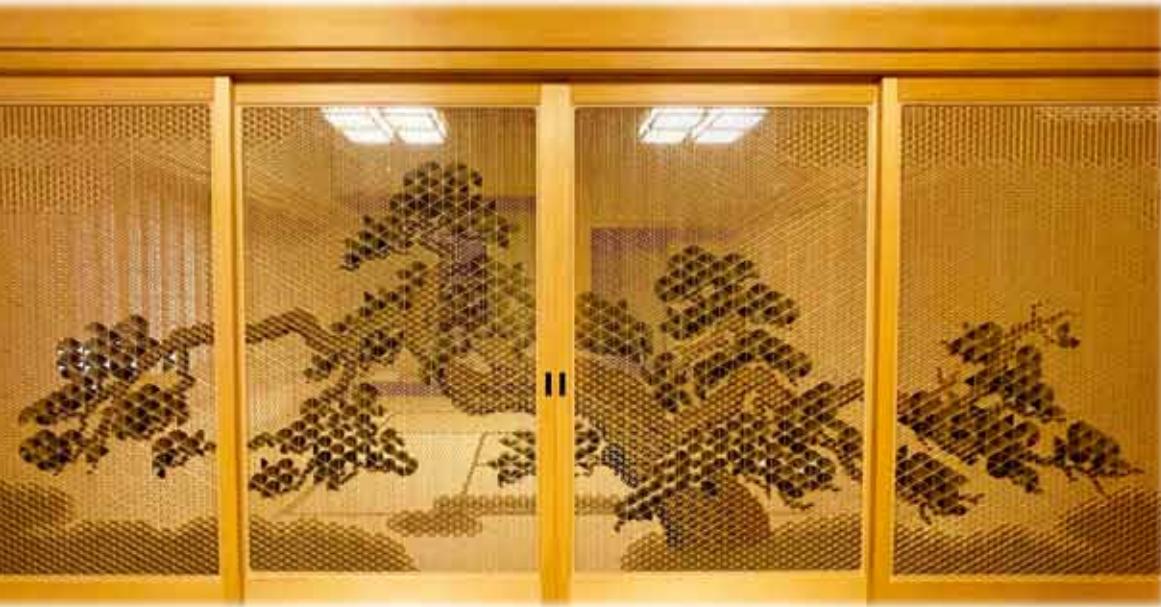
額は本堂再建後、

詳細は不明ですが、

▼山号額



▼組子障子



慶讃し、本堂正面ガラス扉・永代供養墓建立・合同供養墓改修・墓地新規区画整備を円成し現在に至る。

客殿新築の際に、総代世話人からの提案で、お寺に相応しく将来当山の寺宝になる物を作りたいと、『組子障子』の客殿を建築。歴史も古く安土桃山時代の頃より建具職人により伝えられ、着色せず天然の木の色で組み分けて製作するため、木曾檜や二千年も土に埋もれていた神代杉・神代栗など約二十種類の木材でくみ上げられています。建具二十二本を総組子で製作し、使用部品数は一十九万五千個におよびます。

身延山久遠寺第八十六世法主・藤井日静猊下より賜つた。梵鐘は太平洋戦争で供出されたが、昭和三十年（一九五四）十月、立教開宗七百年を慶讃して、堀之内妙法寺第三十一世堀日正上人に鐘名を依頼し再建。当山三十世自淨院日惠上人は宗祖七百遠忌に、日蓮聖人像・位牌堂を建立、町田市原町田地区の再開発に伴い立教開宗七五〇年慶讃事業を平成十年より十年計画で平成大改修を発願、本堂改修・山門新築・仏像修復・淨運寺会館新築・妙見堂新築・境内墓地整備・庫裡客殿新築。

さらには令和に入り当山開山四五〇年を



▲永代供養墓

◀合同供養墓

私は、以前大田区の池上で暮らした事があり、日蓮大聖人様とは何かの縁で結ばれているので

お客様に、やくよけ祖師妙法寺様と言い、大変歴史のあるお寺様であると伺いました。



お祖師様と私

このコーナーでは当山とゆかりのある方々をご紹介します。

第三十八回

堀ノ内参道商店会 会長 永塚 光夫 さん

ながつか みつお

永塚光夫 さん

私が初めて堀ノ内の地を踏んだのが、五十年前になります。その時に驚いたのが、大きな由緒あるお寺様があるなと思った事でした。後日、お

致します。

今後も地域の発展に皆様方と協力して、やくよけ祖師妙法寺様の行事に喜んで参加をさせて頂きたいと思いますので、よろしくお願ひ

時は豆袋の配布、又、お会式の時には参道通りに提灯を飾り、お参りに来て頂く講をお迎えさせて頂いています。こうした中で参加・協力をさせて頂ける事に感謝していると同時に、これからも妙法寺様を中心に、地域の活性化や文化を発信して行けたらと願っています。

今は、妙法寺様の参道通りで美容業を営んでいますが、お正月・節分豆まき・お千部会・お会式・御縁日等々妙法寺様の行事での大勢の人出と賑わいには、ただただ驚いています。堀ノ内参道商店会としても、節分の豆まきの

ではないかと思う今日です。総本山身延山久遠寺にも参拝させて頂きました。

今は、妙法寺様の参道通りで美容業を営んでいますが、お正月・節分豆まき・お千部会・

お会式・御縁日等々妙法寺様の行事での大勢

の人出と賑わいには、ただただ驚いています。

法要山 浄運寺

【所在地】

〒194-0013
東京都町田市原町田 6-21-28
電話：042-722-3160

【交通】

●小田急線町田駅・JR町田駅より徒歩5分



▲美しく咲きほころぶ境内の木々



▲本堂と桜

春には境内に、河津桜・さくらんぼ・枝垂れ桜・ソメイヨシノ・八重桜等が咲き、町田の桜の名所のひとつになっています。お近くにお越しの際は、是非お参り下さい。

堀之内質問箱 その25

一花まつり

Q 花まつりってなに？

お釈迦さまのお誕生をお祝いするために行
う法会のことです。降誕会・仏生会・灌仏会・
龍華会ともいわれ、明治

後期より花まつりとよば

れるようになりました。その起源は古く、仏教
の伝来とともに日本にも伝わり、七世紀初頭よ
り行われるようになりました。

Q お釈迦さまは
いつお生まれにな
ったの？

お釈迦さまのお誕生に
ついては諸説ありますが、

紀元前四六三年あるいは
紀元前五六五年四月八日

にお誕生になられたとい
われます。このことから、
花まつりは四月八日に行

うのが一般的です。

花まつりには、
本堂外に
白象の背に乗る
花御堂(はなみどう)も
設置されます。▼



**お釈迦さまの
お誕生についておしえて**



お釈迦さまは、インドのカピラ城主淨飯王じょうばんおうと摩耶夫人まやの間に生まれになりました。白象が胎内に入る夢を見て懷妊した摩耶夫人が、故郷に帰る途中、ルンビニー園で休息していると急に産気づき誕生されたのが「ータマ・シッダールタリ」お釈迦さまです。お誕生になられてすぐ、お釈迦さまは七歩歩まれ右手で天を指し左手で地を指し「天上天下唯我獨尊」とおっしゃられました。



▲本堂で
行われた
花まつり
の様子



▲本堂の花御堂と
参加者

「天上天下唯我獨尊」という言葉は、自分一人が偉いんだというふうに誤解されがちですが、生きとし生けるものすべてがかけがえのない尊い存在であるということが本来の意味です。

そして、七歩歩まれたというのは、六道を越えたことを意味します。仏教では、私たちは迷いの世界である(八道)地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上)を輪廻していく、生まれ変わりを繰り返すと考えられていますが、お釈迦さまはこの六道輪廻を断ち切った、悟りへと至る存在であり、さらにはすべての衆生を悟りへと導く存在であることが象徴的に表現されているのです。

花御堂についておしえて

はなみどう

花御堂とは、花まつりのときにお祀りする小さなお堂のことです。お釈迦さまが誕生されたときのようすを再現したものです。花が咲き乱れるルンビニー園に見立てたお堂のなかに甘茶を入れた水盤を置き、その中央にお誕生になられた

お釈迦さまの彫像である誕生仏を安置し、竹の柄杓で甘茶を^{そそ}いでお詣りします。いわく、灌仏会という名称が生まれました。



どうして甘茶を供養するの？

お釈迦さまがお誕生になられたとき、九頭の竜が産湯の代わりに香水を天より降らしたいことにちなんでのことです。元々五色の香水を用いましたが、江戸時代に入つて甘茶を灌ぐようになりました。

妙法寺では花まつりは どのように行われているの？

妙法寺では、毎年四月八日に花まつりが行われています。十一時より本堂で厳修される法要には、どなたでも参列でき、甘茶供養をしていただけます。また、九時～十五時まで本堂外にも花御堂が設置され、甘茶供養をしていただけます。^{※1}



※1. 甘茶の提供については中止になる場合がございます。
ホームページまたは妙法寺寺務所にご確認ください。

<http://www.yakuyoke.or.jp>



かわら版

当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

記事についてのお問い合わせは、
お気軽に寺務所まで。

電話 〇二・三三一三・六二四一

社会情勢により行事内容が変更
または中止になる場合がございます。
くわしくはホームページをあわせてご覧下さい。

◎ 法華千部会のご案内

本年も五月十日（金）～五月十三日（月）の期間、法華千部会を厳修致します。

法華千部会は、江戸時代より二百年を越えて行われている伝統行事の一つです。

法華経は壱部読むだけでも大変功德があるため、千部会の贊助者（千部施主）となる功德・ご利益は計りしけません。皆さまも千部施主の一人となり、その大きな功德を

いただき、除厄安全・身体健全・心願成就などをお祈り致しましょう。

日程

五月十日（金）

お経揃い……………十九時

五月十一日（土）～十三日（月）

お経	……………十時・十三時半
法話	……………十二時

千部施主 一名 五千円也

（お開帳・お経頂戴・お食事含む）

五月十一日（土）

天童稚児 音楽大法要 …十三時半

天童稚児 参加費無料

（貸衣装・記念写真含む）

※詳細は、別紙の申込書をご覧ください。



◀ 祖師堂に集まった
大勢の僧侶による「お千部」の様子▼



◀ 天童稚児
音楽大法要の
お稚児さん



—新盆会—

四十九日の忌明け後、初めて迎えるお盆は新盆または初盆といい、特に丁寧に供養を営みます。当山では、新盆を迎えたお檀家様の各靈位を供養する法要を営みます。

法要を営みます。

■**〔日時〕七月十三日(土)…十三時より**

■**〔場所〕本堂**

※各家には、ご案内・申込書をお送りします。

お檀家の皆様と新盆会▼



○盂蘭盆施餓鬼会

「盂蘭盆」は、目連尊者が母親を餓鬼界から救う話が由来となっています。

目連尊者は、お釈迦様に教えられたとおり、修行僧たちをもてなしで供養を施し、その功德で母親を餓鬼界の苦しめから救うことできました。お釈迦様が説かれたのは、身内や自らが仏に成ることが目的ではなく、他人を導き救うことこそが自身の父母・先祖を救うことには繫がつてゆくというものです。



盂蘭盆施餓鬼会の様子▲

○千日紅繫和会

有縁無縁の靈、法界万靈を供養し、全ての生きとし生けるものに感謝する法要です。

■**〔日時〕七月十六日(火)…十一時より**

■**〔場所〕本堂**

夏の「土用の丑の日」に行われる行事です。

頭痛は悪鬼の障りによって起こると信じられていた時代から、その障りを除くために始められたものです。



妙法寺では境内を開放し、千日紅繫和会主催のイベントが行われております。

千日紅を通して、ふれあうことの大切さや、おもてなしの心を育み、子どもから大人までお楽しみいただけております。



▲昨年の千日紅花祭りの様子

○土用の丑ほうろく灸

夏の「土用の丑の日」に行われる行事です。

頭痛は悪鬼の障りによつて起こると信じられていた

時代から、その障りを除くために始められたものです。

■**〔日時〕七月二十四日(水)・八月五日(月)**

…九時～十六時（随時受付）

■**〔場所〕祖師堂**

◆ 祈願料 一名 三千円より

右記のお問い合わせは

千日紅繫和会（清水屋）まで
電話〇三一三三一一〇七一五

■**〔日時〕千日紅花祭り…七月七日(日)**

…九時～十六時（随時受付）

■**〔日時〕十一月三日(日)**



子ども時代を楽しもう!

東京立正保育園

東京立正保育園は豊かな自然に恵まれていて、一歩外に出れば別世界が広がり、子ども達は原っぱで捕まえた生き物を観察したり世話をしたりして可愛がり、カブトムシの幼虫がさなぎになり、成虫になる過程も見届けました。

秋には木の実や色づいた葉っぱを拾つて楽しみ、造形活動にも夢中になりました。子どもの造形遊びは心の表現です。クレヨンで描いた素朴な線の愛らしさ。年齢を重ねるにつれて、友達と協力し合つて完成させる達成感はまた格別です。充実した日々の中で生まれる数々の作品には、その時その時の思いが込められていました。

また、保育園は食べ物に感謝して

食べることも大事にしています。夏野菜を栽培し、毎日の水やりを通して「ピーマン嫌いなの。」等と言っていた子ども達も、収穫の時には「早く食べたい！」に変わってしまうから不思議です。園庭で「焼き芋」や「サンマの会」もしました。自分で網に載せて皆で食べた秋刀魚の味は美味しくて楽しくて大騒ぎでした。

発見し、感動し、目を輝かせて過ごす子ども達には、一日が終わると、たっぷりと遊んだ満足感が漂っています。これからも今しかできない体験を積み重ね、子ども時代を思いっきり楽しんで欲しいと思っています。

東京立正保育園 園長
西 貴子

Open Campus

オープンキャンパス 予約制

現代コミュニケーション学科（共学）

（現代コミュニケーション専攻）

（幼児教育専攻）

ビジネスコース／心理コース／観光コース

○ オープンキャンパス

2024年4月20日(土)

2024年5月11日(土)

2024年5月26日(日)

2024年6月9日(日)

2024年6月23日(日)

2024年7月13日(土)

2024年9月15日(日)

2024年10月26日(土)

2024年11月9日(土)

2024年12月14日(土)

2025年1月25日(土)

2025年2月22日(土)

<時間>

10:30～12:00(午前の部)

14:00～15:30(午後の部)

「気軽に参加できる！」

キャンパス見学＆個別相談

学生スタッフによるキャンパス見学のあと、疑問や不安を解消するため、授業や入試、学生生活等について教職員がご案内します。



○ Specialオープンキャンパス Rittanフェスティバル

2024年3月25日(日)

2025年3月20日(木)

<時間>10:30～15:30

「体験型プログラムを楽しもう！」

韓国語体験授業、音楽表現体験、ミュージカル俳優によるミニライブ＆トークショー、クラブ発表、クラス・ゼミ発表などを行います。

○ 模擬授業付オープンキャンパス

2024年7月20日(土)

2024年7月28日(日)

2024年8月18日(日)

2024年8月31日(土)

<時間>10:30～13:00

「模擬授業でRittanを知ろう！」

キャンパス見学ツアーなど、午前と午後の部で様々なご案内を行います。

東京立正短期大学
Tokyo Rissho Junior College

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641

URL <http://www.tokyorissho.ac.jp/>



完全中高一貫プログラムのグランドデザインで
国際社会での活躍を目指した
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

2025年度入学者対象 学校説明会日程

中学校

2024年	4月 1日(月)	— 10:00
	6月 5日(水)	— 10:00
	7月 6日(土)	— 10:00 ○
	8月 3日(土)	— 10:00
	9月 7日(土)	— 14:30
	9月 28日(土)	— 13:00 ○☆
	10月 26日(土)	— 10:00 ○
	11月 24日(日)	— 10:00
	12月 14日(土)	— 14:30
2025年	1月 11日(土)	— 14:30

高等學校

2024年	7月 6日(土)	— 14:30 ○
	7月 27日(土)	— 10:00
	8月 24日(土)	— 10:00
	9月 14日(土)	— 14:30
	9月 29日(日)	— 10:00 ○☆
	10月 12日(土)	— 14:30
	10月 26日(土)	— 14:30 ○
	11月 16日(土)	— 14:30
	11月 30日(土)	— 14:30
2025年	12月 7日(土)	— 14:00

※○は中高同日説明会。☆は紫苑祭（学園祭）を予定しています。

いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。



学校法人 堀之内学園

東京立正 中学校
高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620

URL <http://www.tokyorissho.ed.jp/>



教 誌 編 集 委 員	
委 員 長 員	小田 教雄
委 員	嶋田 豊教
	吉田 理教
	山田 深教
	宇都 侃教
	新井 慧教
望月 行隆	教
望月 善教	
石川 義教	
村越 智仁	

はりのうら

第60号・令和6年4月発行

私達も他人事とは思わず、日々の
信仰を保ち、少しでも復興の手助けに
なる行動を心がけようではあります
せんか。

お見舞い申し上げます。

教 雄 記

編集後記

令和六年は甲辰(きのえたつ)であり、甲(きのえ)は十干の最初の文字で、物事のはじまりをあらわしています。十二支の辰(たつ)は龍であり、仏を守護し、如何なる事も叶えてくれる良い年とされていますが、元旦の夕刻、能登半島を大地震が襲い、多くの尊い命が失われました。海底の隆起の有様は二千年に一度の大地震と言われ、復興するまでには長い時間と忍耐が必要となります。

災害に遭われた皆様には、心より

ご葬儀をご想儀へ
ムラカミの安心と信頼が皆様の想いをサポートいたします。

ご家族葬から社葬・団体葬までご対応。
1級葬祭ディレクターが責任を持って担当いたします。

365日24時間自社所有の寝台車による速やかなお迎え。
霊安室も完備しております。

葬祭業安心度調査 AAA評価 JECIA格付 ★★★★★認定

村上葬祭 株式会社 ムラカミ

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-28-2
<http://www.murakami-sousai.co.jp>

ご葬儀・ご法要はじめ、ご不明な点について、無料でご相談にお応えいたします。

24時間・365日ご対応 ☎ 0120-711-556

清 水 屋

〒166-0013 杉並区堀ノ内3-48-3 ☎ 03-3311-0725

【営業時間】和菓子 ◆10:00~17:00
手打ち蕎麦 ◆11:00~14:30
※蕎麦がなくなり次第終了

【定休日】◆火・水曜
※三のつく日は、和菓子・お蕎麦共に営業致します。(振替休日有)

墓石・記念碑門扉
諸 石 材 工 事

中島正石材

マサ

〒一六六・〇〇一三 東京都杉並区堀ノ内二丁目三丁
TEL ○三(三二一六)八八四六(代)
FAX ○三(三二一六)八八二二

仏壇・仏具・位牌

みす平は創業300余年の神・仏具の専門店
オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・お位牌などの修理、修復も承ります。

良品 安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

神・仏具のみす平

株式会社 みす平飛天堂

☎ 042-334-9981 FAX 042-334-9982
〒183-0045 東京都府中市美好町1丁目30番地の13
<http://www.misuhei.co.jp>